



あたらしくはいった本 令和7年10月 貸出開始資料から

●**小説・エッセイなどの文学** 宙色のハレルヤ(窪美澄/著) 神さまショッピング(角田光代/著) 波乱万丈な頼子(真梨幸子/著) 水は動かず芹の中(中島京子/著) 登山大名 上・下(諸田玲子/著) 命の横どり(久坂部羊/著) 天上の火焰(遠田潤子/著) 踊り場に立ち尽くす君と日比谷で陽に焼かれる君(金原ひとみ/著) キャベツ炒めに捧ぐリターンズ(井上荒野/著) 真珠配列(岩井圭也/著) みちゆくひと(彩瀬まる/著) ペンギンにさよならをいう方法(ヘイゼル・プライア/著)

●**その他の本** かぎ針で編むクリスマスのオーナメント(アップルミンツ) お悩み相談そんなこともアラナ(ヨシタケシンスケ/著) 人生100年時代の冷えとり大全120(川嶋朗/著) 「話が面白い人」は何をどう読んでいるのか(三宅香帆/著) 子どものかわいさぜんぶ撮る!(青山裕企/著) すきまガーデニング(主婦の友社/編) 英国タイム(エリオットゆかり/著)

「おはなし会のクリスマス」開催

問い合わせ 市民図書館 (☎内線672)

毎年恒例のおはなし会のクリスマスを開催します。みんなでお話を聞いたり、クリスマスの歌を歌ったりして、一緒に楽しいひとときを過ごしましょう。

- ☑**日時** 12月20日(土) 午後2時～午後2時45分
- ☑**場所** プラム・カルコア太宰府(中央公民館) 4階多目的ホール
- ☑**対象者** 幼児以上 ☑**料金** 無料

12月 としょかんカレンダー



○印の日は、お休みです。

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

前回(8月号)述べたように、文献史料がない古代山城については、その発掘調査の成果を基に考察することが重要です。おもに2000年代以降、史跡整備のための確認調査、また豪雨被害からの復旧工事に伴う調査等が行われたことで、それぞれの古代山城のありようがだんだんと明らかになってきました。

整備にかかる確認調査では山城の範囲を確定させるため、周囲の外郭線調査が優先されます。したがって城内の調査が十分ではない山城も多くあります。外郭線の調査では周辺の樹木伐採から始めなければならぬところもあって、それには日数と人手が必要です。また城内の広さはそれぞれ異なりますが、あまり大きくはない山城であっても、それを踏査するだけでも大変なのです。

一方、災害復旧工事は基本的に被災場所がその対象です。石塁の崩壊、土塁の崩落などの事例が報告されていますが、多くの場合、復旧工事に伴う調査はその周辺に限られ、広い範囲に及びません。わたくしは

古代山城と大宰府(5・完) 発掘調査から考える

古代山城

ページID: 7241

北部九州にある、いわゆる神籠石系山城の多くを巡っていましたが、近年相次いでいる集中豪雨の影響で、一部の入口が閉鎖されていたり、史跡公園として整備されている場所でも折れた木の枝が散乱していたりするような山城、あるいは重機が投入されて実際に復旧工事が行われている山城もありました。

先に古代山城における城内の調査がまだまだ不十分であることにふれましたが、そのことを差し引いても、特にいわゆる神籠石系山城では城内で建物跡がほとんど確認されていません。その理由について、山城が実際に供用されるようになってから大急ぎで管理棟や倉庫などを建てるからだという解釈があります。成り立ちうる解釈だと思いますが、そうだとすれば築城時にすでに倉庫等の建物、それも数多くの建物がある大野城、基肆城、鞠智城とは全く様相を異にすることになります。この違いは築城目的やその機能の相違に關係するでしょう。大野城跡については、今年度から福岡県による保存活用計画の策定が始まっています。それに基づく今後の調査に期待したいと思います。